

平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年7月30日

上場会社名 株式会社スタートトゥデイ 上場取引所 東京証券取引所マザーズ
 コード番号 3092 URL <http://www.starttoday.jp>
 代表者 (役職名)代表取締役 (氏名)前澤 友作
 問合せ先責任者 (役職名)取締役経営管理本部長 (氏名)柳澤 孝旨 TEL (043)213-5171
 四半期報告書提出予定日 平成20年8月13日

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績 (平成20年4月1日～平成20年6月30日)

(注)当連結会計年度より連結財務諸表を作成しているため、平成20年3月期第1四半期及び平成20年3月期の業績については記載はしていません。

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	2,447	—	508	—	508	—	290	—
20年3月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
21年3月期第1四半期	2,438	16	2,377	27
20年3月期第1四半期	—	—	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第1四半期	6,479	4,351	67.1	36,390 04
20年3月期	—	—	—	—

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 4,348百万円 20年3月期 一百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	—	—	2,020 00	2,020 00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	2,410 00	2,410 00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 : 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想 (平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期連結累計期間	4,660	—	800	—	800	—	450	—	3,765	69
通期	10,400	—	2,080	—	2,080	—	1,165	—	9,748	95

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 : 有
 当連結会計年度より連結財務諸表を作成しているため、対前期、対前年同四半期増減率は記載していません。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)
- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
- ② ①以外の変更 無
- 〔(注) 詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。〕

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)				
	21年3月期第1四半期	119,500株	20年3月期	119,200株
② 期末自己株式数				
	21年3月期第1四半期	－株	20年3月期	－株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)				
	21年3月期第1四半期	119,302株	20年3月期第1四半期	107,400株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 平成20年5月13日公表の業績予想は非連結ベースのものでありましたが、平成20年5月の子会社設立に伴い、今回より連結業績予想を作成しております。
- 本資料に記載されている業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであります。予想にはさまざまな不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合がありますので、この業績予想に全面的に依拠して投資等の判断を行うことはお差し控えてください。
- 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。
- 平成19年9月8日付で普通株式1株につき3株の株式分割を行っております。

・ 定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期におけるわが国経済は、サブプライムローン問題、原材料価格の高騰及び円高等の影響により、先行きの不透明感が増す状況となっております。

また、当社が軸足を置く衣料品小売業界におきましても、個人消費の停滞等の影響により、引き続き厳しい経営環境にありました。

このような状況の中、主力のEC事業におきましては、新規ショップ3店舗の出店を行ったこと、6月より雑誌検索サービスを開始したこと等、会員へ提供するサービスの更なる強化を図ってまいりました。加えて、6月末時点で会員数が94万人超に増加したことに伴い購入会員も増加し、業績を順調に推移させることができました。また収益源の多角化の一環として本格稼働したメディア事業につきましても、着実に“ZOZORESORT”のメディア価値の向上を実現させたことにより、多くの企業から広告掲載の引き合いをいただき、実績に結び付けていくことができました。

更に、当連結会計年度より新たに開始したメーカー自社EC支援事業(注)を積極的に展開していくため、平成20年5月に当社100%出資にて株式会社スタートトゥデイコンサルティングを設立いたしました。当第1四半期におきましては、設立間もないこともあり、売上は計上されておりませんが、当連結会計期間中の業務受注に向け、営業活動を積極的に行っているところであります。

以上の結果、当第1四半期の売上高は2,447百万円、営業利益及び経常利益は508百万円、四半期純利益は290百万円となりました。

なお、事業部門別の実績は以下のとおりとなります。

(注) メーカー自社EC支援事業：当社ECサイト「ZOZOTOWN」運営のために構築している自社システム、物流インフラを活用し、アパレルメーカーが独自に運営するECサイトのシステム開発、デザイン制作、物流請負、マーケティング支援など、必要に応じて各種フルフィルメント関連業務を支援するものであります。当該受託事業は、当社の将来戦略の一つである収益モデルの多角化の一環として行うものであり、ファッション関連マーケットにおけるBtoB領域への事業展開の端緒となるものであります。

① EC事業

ストア企画開発事業

平成20年6月末現在、ストア企画開発事業では33ショップを運営しており、当第1四半期の売上高は1,618百万円、売上高全体に占める割合は66.1%となりました。

また、同期間における商品取扱高(販売価格ベース)は、商品売上高と同額となりますが、商品取扱高全体に占める割合は33.0%となりました。

ストア運営管理事業

平成20年6月末現在、ストア運営管理事業では62ショップを運営しており、当第1四半期の売上高は776百万円、売上高全体に占める割合は31.7%となりました。

また、同期間における商品取扱高(販売価格ベース)は、3,283百万円、商品取扱高全体に占める割合は67.0%となりました。

②その他

その他の売上として、メディア事業、カード事業、初期出店料等がありますが、当第1四半期におけるその他の売上高は52百万円、売上高全体に占める割合は2.2%となっております。

なお、当社は当第1四半期より連結財務諸表作成会社となったため、前年同期比は記載しておりません。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期における総資産は6,479百万円となりました。うち流動資産は5,760百万円、固定資産は718百万円であります。

流動資産の主な内容といたしましては、現金及び預金3,937百万円、売掛金1,323百万円、商品305百万円であります。

固定資産の主な内容といたしましては、有形固定資産397百万円、無形固定資産50百万円、投資その他の資産270百万円であります。

また、当第1四半期における負債合計は2,127百万円となりました。うち流動負債は2,010百万円、固定負債は117百万円であります。

流動負債の主な内容といたしましては、買掛金226百万円、受託販売預り金1,003百万円、未払法人税等234

百万円であります。

固定負債の内容といたしましては、退職給付引当金45百万円、役員退職慰労引当金72百万円であります。

そして、当第1四半期における純資産合計は4,351百万円、自己資本比率は67.1%となりました。

(キャッシュ・フローについて)

当第1四半期末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、3,937百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とその要因は以下の通りです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果減少した資金は133百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益508百万円の計上による増加要因があったこと、一方、主な減少要因として6月末から実施したサマーセールに伴う第1四半期末時点での売上債権の増加278百万円、法人税等の支払額507百万円があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果減少した資金は、80百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出78百万円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果減少した資金は240百万円となりました。これは、主に配当金の支払額240百万円があったことによるものであります。

なお、当社は当第1四半期より連結財務諸表作成会社となったため、前事業年度末残高との増減の状況については記載しておりません。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループは主力事業であるEC事業の更なる拡大を図ること、また、メディア事業及び新規事業であるメーカー自社EC支援事業等収益モデルの多角化に注力し、継続的な成長を実現させていく所存であります。

EC事業につきましては、5月に実施したモバイルサイトのリニューアルをはじめとしたECサイトの更なる利便性の向上、前事業年度より引き続いての会員数及び購入会員数の増加施策の実行、既存取引先との連携強化及び増加する会員数並びに商品取扱量に対応するためのフルフィルメント機能の強化等を行い、更なる拡大を実現させてまいります。

また、当連結会計期間より新たに事業を開始したメーカー自社EC支援事業につきましては、業務受注に向け、営業を開始しております。第2四半期累計期間におきましては、売上は計上されないものの、下半期において新規受注案件が複数稼働していくものと見込んでおります。

以上により、当連結会計期間の業績につきましては、売上高10,400百万円、営業利益及び経常利益2,080百万円、当期純利益1,165百万円と予想しております。

(参考)

平成21年3月期通期(平成20年4月1日～平成21年3月31日)の業績予想

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益	
	百万円	百万円	百万円	百万円	円	銭
第2四半期連結累計期間	4,600	800	800	450	3,765	69
通期	10,400	2,080	2,080	1,165	9,748	95

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

5. 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

当第1四半期連結会計期間末
(平成20年6月30日)

資産の部	
流動資産	
現金及び預金	3,937,473
売掛金	1,323,797
商品	305,981
その他	193,692
流動資産合計	5,760,945
固定資産	
有形固定資産	397,567
無形固定資産	50,723
投資その他の資産	270,573
固定資産合計	718,864
資産合計	6,479,810
負債の部	
流動負債	
買掛金	226,375
受託販売預り金	1,003,290
未払法人税等	234,592
賞与引当金	80,850
ポイント引当金	118,848
その他	346,316
流動負債合計	2,010,273
固定負債	
退職給付引当金	45,272
役員退職慰労引当金	72,378
固定負債合計	117,650
負債合計	2,127,924
純資産の部	
株主資本	
資本金	1,349,400
資本剰余金	1,317,600
利益剰余金	1,681,609
株主資本合計	4,348,609
新株予約権	3,276
純資産合計	4,351,885
負債純資産合計	6,479,810

(2) 【四半期連結損益計算書】

(単位：千円)

当第1四半期連結累計期間
 (自 平成20年4月1日
 至 平成20年6月30日)

売上高	2,447,194
売上原価	976,156
売上総利益	1,471,038
販売費及び一般管理費	962,095
営業利益	508,942
営業外収益	330
受取利息	20
その他	310
営業外費用	743
株式交付費	180
創立費	563
経常利益	508,529
税金等調整前四半期純利益	508,529
法人税、住民税及び事業税	229,549
法人税等調整額	△11,897
四半期純利益	290,877

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

当第1四半期連結累計期間
 (自 平成20年4月1日
 至 平成20年6月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	508,529
減価償却費	20,478
賞与引当金の増減額(△は減少)	31,289
ポイント引当金の増減額(△は減少)	△573
退職給付引当金の増減額(△は減少)	9,539
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	474
受取利息及び受取配当金	△20
売上債権の増減額(△は増加)	△278,944
たな卸資産の増減額(△は増加)	18,605
仕入債務の増減額(△は減少)	△130,542
受託販売預り金の増減額(△は減少)	205,234
未払金の増減額(△は減少)	△22,515
未払消費税等の増減額(△は減少)	△37,585
その他	50,104
小計	374,074
利息及び配当金の受取額	20
法人税等の支払額	△507,835
営業活動によるキャッシュ・フロー	△133,741
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△78,175
無形固定資産の取得による支出	△817
敷金の差入による支出	△1,200
その他	△705
投資活動によるキャッシュ・フロー	△80,898
財務活動によるキャッシュ・フロー	
株式の発行による収入	420
配当金の支払額	△240,784
財務活動によるキャッシュ・フロー	△240,364
現金及び現金同等物に係る換算差額	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△455,003
現金及び現金同等物の期首残高	4,392,477
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,937,473

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)
全セグメントの売上高の合計、営業利益及び全セグメントの資産の金額の合計額に占めるEC事業の割合が、いずれも90%を超えるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)
在外子会社及び重要な在外支店がないため、記載を省略しております。

【海外売上高】

当第1四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)
海外売上高がないため、該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前期末及び前第1四半期に係る財務諸表等

(注) 当第1四半期より連結財務諸表を作成しておりますので、参考までに前事業年度末の(要約)貸借対照表、前事業年度の(要約)四半期損益計算書及び(要約)四半期キャッシュ・フロー計算書を記載しております。

(1) (要約) 貸借対照表

(単位：千円)

科目	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
(資産の部)	
I 流動資産	
1. 現金及び預金	4,392,477
2. 売掛金	1,044,853
3. 商品	324,587
4. その他	188,049
流動資産合計	5,949,967
II 固定資産	
1. 有形固定資産	340,363
2. 無形固定資産	42,974
3. 投資その他の資産	266,722
固定資産合計	650,060
資産合計	6,600,028
(負債の部)	
I 流動負債	
1. 買掛金	356,917
2. 受託販売預り金	798,055
3. 未払法人税等	507,835
4. 賞与引当金	49,560
5. ポイント引当金	119,422
6. その他	359,952
流動負債合計	2,191,744
II 固定負債	
1. 退職給付引当金	35,733
2. 役員退職慰労引当金	71,904
固定負債合計	107,637
負債合計	2,299,381
(純資産の部)	
I 株主資本	
1. 資本金	1,349,100
2. 資本剰余金	1,317,300
3. 利益剰余金	1,631,516
株主資本合計	4,297,916
II 新株予約権	2,730
純資産合計	4,300,646
負債純資産合計	6,600,028

(2) (要約) 四半期損益計算書

(単位：千円)

科目	前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期)
I 売上高	1,866,552
II 売上原価	782,703
売上総利益	1,083,849
III 販売費及び一般管理費	708,640
営業利益	375,208
IV 営業外収益	416
V 営業外費用	607
経常利益	375,017
税引前四半期純利益	375,017
法人税等	176,205
四半期純利益	198,812

(3) (要約) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

区分	前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	375,017
減価償却費	15,787
賞与引当金の増加額	20,992
ポイント引当金の増加額	19,044
退職給付引当金の増加額	4,920
役員退職慰労引当金の増加額	4,723
受取利息	△ 10
支払利息	607
売上債権の減少額(△増加額)	374,259
たな卸資産の減少額(△増加額)	56,001
仕入債務の増加額(△減少額)	△ 79,397
受託販売預り金の増加額	18,828
未払金の増加額(△減少額)	△ 82,147
その他	△ 36,155
小計	692,471
利息の受取額	10
法人税等の支払額	△ 459,873
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
営業活動によるキャッシュ・フロー	232,608
有形固定資産の取得による支出	△ 15,818
無形固定資産の取得による支出	△ 7,780
その他	△ 126
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 23,725
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	—
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	—
V 現金及び現金同等物の増加額	208,882
VI 現金及び現金同等物の期首残高	1,632,355
VII 現金及び現金同等物の四半期末残高	1,841,238

(4) 前事業年度における継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。